

中野(新)執行委員長を先頭に 戦闘的方針体制を確立

日刊 動労千葉

83.10.7

No. 1461

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五、六 (公衆)〇四七二(22)七二〇七

10/9三里塚への根こそぎ決起を突破口に

「反合・三里塚」での総反撃を確認

動労千葉第8回定期大会は、十月六日、第二日目の全議事を終了し、反動中曽根内閣の軍事大国化・改憲にむけた三里塚・国鉄労働運動解体攻撃と真正面から対決し、労働連帯強化「反合・三里塚を基軸に即ち労働運動」路線を更に鮮明にかかげ、10/9三里塚への全力決起を突破口に、新たに選出された中野執行委員長を先頭とした新執行体制のもと、全員うって一丸となって総反撃していく戦闘宣言を発し、圧倒的熱気のうち成功裏に終了しました。

三里塚・国鉄で勝ちぬぎ 反動中曽根を打倒せよ

10/2日目・運動方針案で活発な討論を展開

大会才2日目は九時に再開し、冒頭、水野副委員長より「一九八三年度予算案」が提案された後、直ちに運動方針案の質疑応答に移りました。質疑・討論は4支部2分科の計10名の代議員から出され、本部答弁も含め活発な熱のこもった討論が展開されました。

主な意見は、

中曽根内閣の軍事大国化・改憲のための行革「国鉄」攻撃のなかで、動労千葉の「反合・三里塚」闘争路線こそ勝利の道があり、確信をもってこの道を進もう、職場を直撃する59之ダイ改、動乗勤改悪、「職場規律の確立」を中心とする恐るべき攻撃の質と狙い、中曽根の「戦後政治の総決算」路線の一方の軸、をしっかりとつかみとり、運動の原則を堅持して実力反撃をねばり強くかちとってこいこう、今や完全に政府・国鉄当局の最悪質の先女になり切った動労「本部」軍マル反動腐敗分子を全国全職場から粉碎一掃し、国労共闘

動労内良心的戦闘的組合員との闘いの一層の共闘を強化し、動労大改革をかちとろう、組織体制の確立にむけて高令者向題・新採向題を重要視してとりくみを強化すべきではないか、

等々の意見が出されました。これら多くの意見について吉岡組織部長、そして中野書記長から約一時間二〇分にわたる総括答弁を受けました。すなわち、「今日の大攻撃は『行革』の目玉として中曽根内閣の国家路線にそって『軍事大国化・改憲』かけられ(うらへ、続く)



分離独立、三里塚ジェット闘争、国鉄反合闘争、動労本部、軍マル打倒一掃 等々、勝利の確信にもえた活発な討論が展開された。発言に立つ代議員。(才2日目は10月6日、千葉グランドホテル)

大会速報 才2日目

てあり、これまでの職場内の力関係や戦術的対応にたよっているだけでは突破は困難である。中曾根を打倒するような圧倒的人民の政治的力、情勢を大きくつくり出し、敵の弱点を攻めていくことが重要である。それは三里塚と国鉄を結合して叩き勝利することだ。10月9日から始まる秋の政治闘争にすべてがかかっている。動労千葉新執行体制のもと10月9日の根こそぎ動員を実現しよう」と、自ら先頭にたつ決意をこめて訴えました。

4つの決議を満場一致で採択

午後から再開された会議の冒頭、はるばる関西からかけつけた明石住民の会の加辺氏は、「関西では『動労千葉につづけ』が合言葉になっています。今後三里塚と動労千葉との連帯を二本の柱に叩いていきたい」と力強いあいさつをされました。

つづいて、多忙な議会活動・地域活動からかけつけた中江船橋市議より選挙闘争の際の全組合員の奮闘・協力に対する御礼と選挙闘争の勝利を教訓化し、労農連帯をかけた地域住民と連帯し平和と民主主義を叩いていくために奮闘する」とこの決意が述べられ全体の拍手がこれに応えました。

今大会には、各支部代議員の連名でつくられた合計四本の決議案が提出されました。新小岩・蘇我支部を中心とした代議員の連名による「59-2ダイ改」貨物合理化に反対する決議(案)、「趣旨説明」新小岩若林代議員)、千葉転・銚子・館山・勝浦支部を中心とする代議員の連名による「動衆勤(内達一号)改善阻止を叩く決議(案)」

(趣旨説明)千葉転・内山代議員)、津田沼・幕張支部を中心とした代議員の連名による「国鉄労働運動解体攻撃の先兵」動労本部」革マルを追放一掃する決議(案)」「趣旨説明」津田沼・椿代議員)、成田・佐倉支部を中心とする代議員の連名による

「三里塚二期着工攻撃粉碎、10月9日根こそぎ決起する決議(案)」(趣旨説明)成田・白暮代議員)、がそれぞれ提案され、満場の圧倒的拍手で確認されました。

「労農連帯を強化し二期決戦に必ず勝利しよう。10月9日決起を」と訴える三里塚芝山連合空港反対同盟、北原事務局長(下)と群司鶴人行動隊長(右)。



中野 新執行委員長を先頭とした新執行体制を確立

「一九八三年度運動方針案」「スローガン」「予算案」等が満場の拍手で承認された後、一九八三年度の新役員、委員、各種委員が選出・承認されました。

片岡執行委員より「三里塚・国鉄決戦の勝利で、日帝・中曾根を、動労本部」革マルもろとも打ち倒し、日本労働運動の戦局的再生をかちとるために総反撃にうつってよう。10月9日三里塚を総力で叩き、秋の反戦・三里塚から59-2ダイ改反合同争に総力をかけてうって出る」との大宣言が読み上げられ、全体のイギナシと拍手で圧倒的に確認されました。

大会は最後に新旧役員のあいさつが行われ、5期10年にわたり千三百組合員の先頭にたって叩いぬき今大会をもって退任した南川前執行委員長から「動労千葉の正義の路線を支え、今後とも千三百の仲間と共に叩き進んでゆく」との確信にみちた感動的あいさつがなされ満場の割れるような拍手がこれを包みました。

最後に、新役員を代表して中野新執行委員長から「これまでの勝利の路線を継承発展させ、南川丸を引き継ぎ、千三百の船長として全力を傾注して荒波にうって出る」とこの決意をうけ、組合歌、団結ガンバロウをもって成功裏に終了しました。

一九八三年度執行体制

執行委員長	中野 洋三	執行委員	西森 巖(3)
執行副委員長	木野正美(4)		吉岡正明(4)
	山口敏雄(4)		片岡一博(4)
書記長	布施守一(4)		

(特設委員体制は追って掲載)